

幼児教育研修（保育の質向上）

受講者数 70名

日時 令和4年12月19日（月） 15:00～17:00

場所 足立区生涯学習センター

講師 千葉大学 教育学部 教授 砂上 史子 氏

【内 容】～「教育・保育の質に係る保育者アンケート」の調査から見えてきた足立区の現状を踏まえ、子どもの育ちを支援する関わりや環境について学びを深める～

質の高い教育・保育は、生涯にわたり長期的且つ肯定的な影響をもたらします。教育・保育の質と子どもの発達の関係や、非認知的能力の獲得の重要性などを、様々な調査結果から学びます。また、主体的で対話的な深い学びへつなげる保育者の役割について、動画視聴や事例をとおして理解を深めます。

**【受講者の感想】***** 研修で学んだことを保育にどう活かしていきますか**

- ・保育者としてプロ意識をもち、自ら行う保育について“説明”できる専門性をもつことの重要性を、職員全員で共有したい。
- ・質の高い幼児教育は、長期的且つ肯定的な影響をもたらすことから、保育者としての役割を十分に認識し、保育実践につなげていきたい。
- ・保育には答えがないので、常に自問自答することが大切である。職員一人一人が意識できるよう、問いかけや投げかけだけでなく、一緒に考えていくことを意識したい。
- ・固定観念をもちず一人一人を大切に受け止め、一人一人のプロセスを大切にしていく。子どもが「やりたい」と思うきっかけ作りをし、夢中になって遊べる環境を設定していく。
- ・保育者も「やりたい」「やってみたい」と思える、職場の雰囲気作りをしていく。
- ・子どもたちは、日々の遊びや生活から様々なことを学んでいる。幼児期の終わりまでに育ててほしい10の姿に結びついていることを、常に意識しながら保育していく。
- ・「以前やったことがあるから」ではなく、その都度教材研究や環境設定し、現在の子どもたちに合っているのかを考えながら、保育の計画をしていく。